

# 訪問リハビリ通信

第1号

全国で緊急事態宣言が解除されましたが安心はできません。新型コロナウイルス感染症に気をつけつつ、健康を維持していくことも重要です。どんな運動をすればよいのか、生活の工夫など、お気軽にご相談ください。

さて第1号では、当院訪問リハビリテーションを利用されているパーキンソン病の利用者様の経過報告を通して、利用者様の声をお届けしたいと思います。



70歳代 女性  
要支援2 一人暮らし  
パーキンソン病 薬(ネオドパストン配合錠 L100 mg)



## リハビリテーション介入前の主訴

- ・体が曲がって胸が苦しい
- ・動き始めが動作しにくい
- ・歩行:ふらつきがあって、姿勢が悪い。人とすれ違うのもこけないか心配…

## リハビリテーション

ストレッチ、バランス練習、歩行練習、自主トレーニング指導等、症状に合わせたリハビリテーションプログラム(週1回、60分)



## リハビリテーション介入後

- ・姿勢が良くなったので、胸が苦しくなくなった
- ・一人で散歩や買い物ができるようになった
- ・レース編みがやりにくくなっていたが、今までのようにできるようになった

## 担当者より

今回、運動療法と薬物療法を並行して施行することで、パーキンソン病の症状の改善がみられ、生活の質が向上しました。また、性格もとっても明るくなられ、リハビリテーションの時間は楽しく取り組まれています。これからも趣味のレース編みを楽しんで続けてくださいね。(理学療法士 菅野)

おかげで元気になりました。本当に動けなかったもので…。近所の人に、「元気になったね」「よく歩けるようになったね」と言ってもらって嬉しいです。

(利用者様より)

